

令和7年度 古文書講座『こもんじょから知る石見銀山』 実施概要

○趣旨・目的

- ・石見銀山に関連する古文書史料を解説し、石見銀山の歴史に親しむ

○現在の講座実施状況

- ・令和4年度から通年開催を見直し、令和7年度は年9回の開催とする。
- ・講座各級とも、受講者の継続意欲が高く、講義自体は現行を継続することが望ましい。
- ・講座参加者のうち希望者を対象に、史料整理に参加する機会を設けるなど、取り組みの発展を検討している。

○各コース概要

コース	初級コース	中級コース	上級コース（H24からの新設）
方針	講師の指導のもと、史料を通じて石見銀山の歴史を理解し、古文書読解の基礎を学習する。	講師の指導のもと、史料を通じて石見銀山の歴史等への理解を深める。	参加者の自主的な運営のもと、県市が提供する史料を活用して、自身で古文書の読解を行う。
人数	20人程度	10人程度	10人程度
年間資料代	1,000円	1,000円	1,000円
講師	あり	あり	なし（職員は顧問として）
開催日	毎月第2木曜 10:00～11:30	毎月第3木曜 10:00～11:30	毎月第4木曜 10:00～（参加者の協議で変更可）
場所	センターオリエンテーション室	センターオリエンテーション室	センターオリエンテーション室
備考	古文書の初学者向け	古文書の読解に慣れた人向け	職員は史料提供や運営相談等を行う

○その他

講座の開催時に、古文書等の資料の利用について、注意喚起を徹底して行うこととする。